

やけののそよ風



No.6

令和4年6月7日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

ほめるコツは「サ行」で～自信をつけ、やる気を引き出す言葉～

人間は褒められていやらな気持ちになる人は誰一人としていません。「やつてよかったな」と充実感を味わい、「これからも頑張ろう」とやる気が出でます。人を褒めるという行為は、人を成長させる「特効薬」だと言えそうです。子どもに自信をつけ、やる気を引き出す元気の出る言葉かけには、「さ行」(さ・し・す・せ・そ)の文字のついた言葉を発しているという共通項があります。



- ・「さすがだね」…あなたがやっただけのことはあると、行為を認めることです。
- ・「失敗してもいいよ」…完成を求められないと、安心感が生まれて心が楽になります。
- ・「すごいね」「素晴らしい」…高く評価されることは嬉しいものです。自信ができます。
- ・「成長したよ」…進歩の状況を認められると、さらに頑張ろうとやる気が生まれます。
- ・「そうだね」「そのとおりだよ」…同調され、共感的に受け入れられると、心が安定します。

子どもの今の状況を受け入れて共感し、そのうえで認め、さらにやる気をもたせる言葉が「さ行」に集まっています。子どもの行為に「さ行」の言葉で返すことが子育てのコツだと言えます。

逆に、子どもの言動に対して、「でも、これはどうなの」「だって、これはこうだったでしょ」「どうせ、こうだから」といった言い方は子どもの意欲を阻害します。それを聞いた子どもは心にバリアをつくり、「どうせ、自分はダメなんだ」と思い込んでしまいます。まずは「よく頑張ったね」と認め、「これからもその調子でね」と励ますようにしたいものです。

(参考文献：「保護者と語りたい子育て話材 50」北俊夫著 文溪堂)

やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【5年生校外学習（京都水族館）】5月24日（火）



コロナ感染症の影響で、子どもたちにとって久しぶりの校外学習となりました。水族館では、グループで海の生き物を見学しました。見たことや気づいたことなど、しっかり記録をとっている子がたくさんいて立派でした。イルカショーでは、イルカが高くジャンプする様子に歓声をあげていました。見学のマナーもよく、時間を守って行動できました。グループで協力し、楽しくすごせた1日でした。